

事業所名

Cocoroふちのべ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		「こころ」からの笑顔のために					
支援方針		個々の発達や課題に応じた個別療育やグループ療育、社会性やコミュニケーションを育む集団療育を通してお子様の「挑戦できた!」や「やってみたらできた!」という自信や達成感を積み重ねて「自分是可以るんだ」という自己肯定感や強みをたくさん持ち、進学や就労と社会に繋がっていくように支援を実施していきます。					
営業時間		10 時	30 分から	19 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	個々の発達に合わせて日常生活に必要な動作（食事・排泄・衣服の着脱等）や生活に必要なスキル（お金・時計・時間を意識した行動）が身につくことを目指している。支援方法として個別療育でお子様の発達に合わせて課題を設定し、生活で活かせるように練習をしています。またお金の計算やお金に触れる体験として集団療育の時間を使ってお買い物体験を実施しています。					
	運動・感覚	日常生活に必要な基本的動作の発達を促す為に粗大運動や微細運動を行い姿勢保持や力加減のコントロール、手先の巧緻性や目と手の協調運動が身につくことを目指している。支援方法として粗大運動（サーキットトレーニングや公園活動、体幹トレーニング等）や微細運動（工作、スライムや小麦粉粘土などの感覚統合遊び）を実施しています。					
	認知・行動	スケジュールやタイマー使用など特性に応じた合理的配慮の下、何をすべきかを考えて自ら行動する力や順番やルールを守る、説明を聞いて行動するなどの社会適応に必要なスキルが身につくことを目指している。支援方法として集団療育でルールのあるゲームを実施したり、工作やものづくりなど工程がある活動を取り入れて話を聞いたり、見本を見て作る活動を実施しています。また個別療育では物と名前のマッチングや漢字の読み、計算、メモ書きトレーニングなど生活に必要なスキルのトレーニングを実施しています。					
	言語コミュニケーション	個々の発達に応じてコミュニケーション方法は違いますが、要求、挨拶、場面に応じたやりとりなど他者とのやりとりや自分の気持ちや考えを伝えられたという経験を積み重ねて自分の気持ちを発信する力を育んでいきます。支援方法として非言語コミュニケーションの場合カードやジェスチャーで要求を伝える練習や語彙力や語想起の向上がを目指して特徴を捉えて説明をする練習や状況を読み取り文字に書き起こす練習を個別療育で行っています。					
	人間関係社会性	お子様の安心できる居場所となれるよう心がけています。遊びや集団療育の活動を通して他者と一緒に何かをする経験や少し苦手なことにも挑戦してみる経験から「できた」、「楽しい」という成功体験を積める場になることを目指している。また長期休みでは実際に社会に出てお買い物体験や外食体験などの実体験を積み活動も行っています。					
家族支援		定期的な面談やご家庭と連携できるようにその日行った療育の内容を送迎時にお伝えしております。			移行支援		地域の学校、他事業所と支援方法の共有を行っていく。
地域支援・地域連携		地域の公園遊びや市内の施設を利用し、地域の方との交流の場を設けている。			職員の質の向上		ジョブメドレー研修、事例検討会等の研修を行い職員の質の向上に努めています。
主な行事等		季節行事（お水遊び、ハロウィン、クリスマス、初詣、節分、ひな祭り等）や外出イベント（外食体験、プラネタリウム、科学館、お買い物体験、公園活動等） 定期的に避難訓練の実施					